クラブ運営方針

会長　奥島　直道

　２０１８～２０１９年度４６代会長として，大洲ロータリークラブの運営を任される事になり，責任の重さを痛感しています。しかし，これも与えられた使命と考え，一年間自分なりに精一杯頑張っていこうと思っています。

　会員の皆様には，本年度のＲ．Ｃの事業につきまして，御協力頂きますよう，心からお願い申し上げます。

　さて，国際ロータリーのバリー・ラシン会長は，「インスピレーションになろう」を国際ロータリーのテーマに選びました。これは、「英知を生み出そう。」とか、「創造性をもとう。」とかいう意味のようです

　又，第２６７０地区では桑原征一ガバナーより「共に考え、共に行動しよう」とのテーマが発表されました。これは，前向きに、現状に満足しないで、ロータリーを発展させようという意味に理解できます。

　以上のテーマのもと，今年度は，他の奉仕団体と協力して，奉仕事業を積極的に行っていこうと考えています。お祭り村の協力、新年会、特に青少年の育成に力を注ぎ、ライラセミナーや少年少女キャンプへの参加を促したいと思います。

皆様のご指導，ご協力を重ねてお願い申し上げます。